

# 専門学校麻生リハビリテーション大学校

## 教育目標（育成人材像）

### 理学療法学科

「時代変化に対応し、医療・介護分野など幅広い分野で活躍できる人材を多く育成する。」

医療および介護分野をはじめ様々な分野で理学療法士が活躍しており、社会情勢の変化に応じてさらに専門職としての役割が求められている。

理学療法学科では、理学療法士としての高い倫理観とセルフマネジメント能力をもった社会人を育成する。また多様化する社会に対応できる幅広い視野を持ち、理学療法士としての視点から社会に貢献できる人材の育成を目標とする。

### 作業療法学科

「人々の健康と幸福を促進し多様化する社会に貢献できる作業療法士を育成する」

社会人として豊かな人間性と高い倫理観を持ち、ワークライフバランスを実現し社会人としての責務を果たすことが重要である。特に作業療法士は高度な知識と専門技術を発揮し保健・医療・福祉・教育・職業など広い分野での貢献が求められている。更に、他者と協働し多様化する社会・対象者に柔軟に対応し、作業療法を通して人々の健康と幸福を促進する人材の育成を目標とする。

### 言語聴覚学科

「多様化する社会の健康と幸福へ貢献できる言語聴覚士を育てる」

言語聴覚分野の保健・医療・福祉を担う医療専門職は、高度な知識・専門技術に加え、豊かな人間性、高い倫理観、柔軟なコミュニケーション技能が求められる。また、医療の急激な発展、専門化、高度情報化、国際化に対応するためには、終身学習と反省的実践が不可欠である。本学科は、多様化する社会・対象者に柔軟に対応し、リハビリテーションを通して健康を維持増進することで、目の前の患者・患児様一人ひとりの生活の質の向上に寄与し、延いては社会全体の幸福へ貢献できる言語聴覚士を育成することを目標としている。そのために、学生と教員がアサーティブコミュニケーションを取り、互いの固定観念や既成概念を認識し、変容することを恐れない心理的安全性を確保していく。